

● 地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィリピン
2. 事業名	フィリピン安全農畜産業技術普及支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	フィリピンにおける農業は、急速な経済発展に伴う消費者の食料需要の変化への対応により、より良質で安全性の高い農産物を供給することが求められており、化学合成肥料、農薬を有機質資材に代替する技術として、土作り・安全農畜産物生産技術（安全農畜産技術）を普及する必要がある。
4. プロジェクト目標	国及び対象地方自治体（LGU）職員並びに農民が土作り・安全農畜産物生産技術の有用性と内容を理解し、その普及推進を実践する。
5. 対象地域	フィリピン国14州
6. 受益者層 （人数規模）	国及び対象地域内の農業行政担当者（400人）、地方自治体の農業技術普及担当者（800人）及び農民（2,500人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <p>1. 国及び対象地域LGU行政関係者がSPLPTの有用性を理解し、その普及の必要性を認識する。 2-1. 対象地域LGUの農業技術普及担当者がSPLPTの有用性と実践方法を理解し、その試行を指導する。 2-2. 対象地域の農民がSPLPTの有用性と内容を理解し、これを試行する。</p> <p><活動></p> <p>1. 国及び地方自治体行政関係者を対象とする活動 1-1. プロジェクト実施協議打合（南牧村等でプロジェクト開始時にカウンターパート機関の責任者がプロジェクト活動について協議） 1-2. 行政関係者本邦研修（南牧村等で国及びLGU行政関係者がSPLPTを視察、学習） 1-3. 技術解説セミナー（フィリピンにおける日本農民、技術指導者、研究者等によるSPLPTセミナー） 1-4. モニタリング及び活動打合せ（フィリピンにおける南牧村及びJAECの担当者によるプロジェクト実施状況のモニター及び活動実施打合） 2. LGUの農業技術普及担当者及び農民（主として農民グループの指導者）を対象とする活動 2-1. 技術関係者本邦研修（南牧村等で対象地域のLGU普及担当者、農民が堆肥、炭、木酢製造利用技術を習得） 2-2. 技術普及指導会（フィリピンにおける日本農民、技術指導者、先行プロジェクト普及関係者による詳細技術説明会及び現地指導会を開催） 2-3. 先進地視察研修（フィリピンLGUの農業技術普及担当者及び農民が先行プロジェクト実施地域を視察、学習）</p>
8. 実施期間	2013年12月から2016年11月
9. 事業費概算額	59,999千円
10. 事業の実施体制	日本国内の実施体制：公益社団法人国際農業者交流協会 フィリピンの実施体制：フィリピン農業省及び関係地方自治体
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 （提案自治体）	長野県南佐久郡南牧村
2. 対象国との関係、協力実績	草の根技術協力事業（パートナー型）事業（国際農業者交流協会と協力実施）にて研修員受入及び業務従事者派遣。国際農業者交流協会独自の事業による農業実習生受入の実績あり。